

後期基本計画

重点目標 3

産業力の強化

政策 1 地域の魅力の創造「地域産業の発展による市内経済の活性化」

政策 2 地域の魅力の創造「豊富な農林水産資源の再構築」

重点目標 3

産業力の強化

基本方針

風情と風格が漂う国際的な観光文化環境都市の実現のため、本市が誇る自然、歴史、文化、街並みや景観、スポーツなどの地域資源を活用し、その魅力を高めることにより、市内外から多くの人を訪れ、これからも選ばれる観光地域として持続的に発展していくことを目指します。

また、市内経済の活性化に向け、引き続き企業誘致・留置に努めるとともに、意欲のある人が新しい事業にチャレンジすることを応援する気風を定着させることにより、地域の活気とにぎわいを生み続けることを目指します。

政策イメージ

地域の魅力を高め、活気とにぎわいに満ちたまち

市内経済の活性化

未来につなげる産業構造の構築と持続的な発展



レガシーの継承／
伊豆市版DMO※事業／
訪れた人の満足度と
リピート率の向上

広域連携による
新たな魅力の発信／
にぎわい創出に
向けた起業・創業支援
積極的な
企業誘致・留置



農林水産資源の再構築

農林水産業の競争力強化



農のある暮らし／
森林環境譲与税の有効活用／
日本一のわさびの郷／
生産振興と技術継承



政策 1 地域の魅力の創造「地域産業の発展による市内経済の活性化」

本市の有する多彩で豊富な観光資源の価値をさらに高め、交流人口の増加や伊豆市ファンの創出につなげるとともに、東京 2020 大会開催を契機としたスポーツを通じた交流の促進を図ります。

また、産業振興のため、起業支援や企業誘致・留置、雇用の創出等に取り組むとともに、働きやすい環境を整えていきます。

政策目標

◎ 未来につなげる産業構造の構築と持続的な発展

具体的
イメージ

観光消費額・宿泊客数・観光入込客数 ▶ 増加

R2 基準値：観光消費額 17,258 円(R1)、宿泊客数 433,929 人(R2)、観光入込客数 2,071,868 人(R2)

起業創業・企業立地件数 ▶ 増加

R2 基準値：企業創業 8 件、企業立地件数 0 件

政策 2 地域の魅力の創造「豊富な農林水産資源の再構築」

中山間地域の特産林産物や沿岸地域の水産物などの豊かな地域資源を生かすための生産基盤の整備、商品の高品質化・ブランド化、地産地消の促進のほか、多様な担い手の育成・確保や農地の有効活用を推進します。

また、世界農業遺産「静岡水わさびの伝統栽培」のブランド力をさらに高めつつ、質の高いわさびの生産振興と継承を軸にした取組を進めていきます。

政策目標

◎ 農林水産業の競争力強化

具体的
イメージ

特産品の出荷額 ▶ 増加

R2 基準値：「わさび」「しいたけ」の年間出荷額 824,319,365 円(R2)
(内訳：わさび：650,367,060 円 ししいたけ：173,952,305 円)

新規就農・就業者数 ▶ 増加

R2 基準値：新規就農者 1 名、新規就業者 2 名

※ DMO

様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について、地域が主体となっていく観光地域づくりの推進主体。

政策 1 地域の魅力の創造「地域産業の発展による市内経済の活性化」

施策 1 東京 2020 大会を契機としたレガシーの継承



本市の現状

- 😊 東京 2020 大会自転車競技（トラックレース／マウンテンバイク）の開催地であり、会場である日本サイクルスポーツセンターがある
- 😊 伊豆半島1周サイクリングやライド&ライド伊豆狩野川などの自転車を取り巻く環境がある
- 😞 市内にサイクルショップや自転車まちづくりの核となる拠点が無い
- 😞 矢羽根などの整備をしているものの自転車に安全に乗る環境整備が不十分

市民と共有したいありたい姿

- ◎ 市民が日常的に自転車を利用し、楽しんでいる
- 市民や観光客移動手段に自転車が日常的に活用され、サイクリストが集うまちとしても全国的に認知されている
- 東京 2020 大会後も自転車競技が度々に行われ、にぎわいが生まれる



改善

より良く

レガシーの継承に向けた 2 つの作戦

作戦 1

東京 2020 大会のレガシーとして、オリパラ競技会場の積極的な活用を図ります

作戦 2

東京 2020 大会を契機として根付いた「自転車を活用したまちづくり」を行います



ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ

※主な取組についての具体的内容は、資料編 123 ページに記述しています
 ※「▶」は各部局における重点事業

作戦 1 オリパラ競技会場の聖地化

東京 2020 大会 自転車競技(トラックレース／マウンテンバイク)の開催地というレガシーを生かし、大会後もスポーツによる国内外との交流を拡大します。

【主な担当課】
 観光商工課

◎主な取組

▶東京 2020 大会 “自転車競技会場の聖地化”

国内外の各種自転車競技大会への協力・開催

日本サイクルスポーツセンターの利用促進

マウンテンバイク練習コースの活用

作戦 2 自転車を活用したまちづくり

サイクリストなどが気軽に利用や交流できる拠点の整備や、自転車が市民生活に根付いていくための取組を推進します。

【主な担当課】
 観光商工課

◎主な取組

▶“サイクリストの拠点” 整備

▶市民の自転車乗れる率 100%に向けた取組の推進

自転車を活用したコンテンツ開発と販売

自転車を活用した健康づくりの推進

地域密着型自転車プロチームとの協働

自転車競技の普及に向けた取組の推進

政策 1 地域の魅力の創造「地域産業の発展による市内経済の活性化」

施策 2 伊豆市版 DMO による観光地域づくりの推進



修善寺温泉竹林の小径

本市の現状

- 😊 地域ブランド調査*1 における、全国魅力度ランキング第 21 位 (R2)
- 😊 観光客一人当たりの観光消費額は上昇傾向にある
- 😞 首都圏をターゲットとした「安・近・短の観光」と「世界レベルのリゾート地に向けた観光」の両立に向けた取組が必要
- 😞 観光に携わる団体が一本化されず、機能が不明確、非効率
- 😞 観光交流客数は、ほぼ横ばいの状況 (H28 ~ R2 平均: 340 万人程度)

市民と共有したいありたい姿

- ◎ 多くの観光客が訪れ、交流し、満足度の高い観光地域となっている
- 市民が主体となって地域の魅力向上のための観光地域づくりを行っている
- 市民が伊豆市の地域資源に誇りを持ち、魅力を発信している
- 新しい生活様式に対応した観光スタイルが確立され、コロナ後も選ばれる観光地域として、多くの観光客でにぎわっている



改善



より良く



観光地域づくりに向けた 2 つの作戦

作戦 1

豊富な地域資源コンテンツの
観光への活用を
行います

作戦 2

美しい伊豆創造センター
との連携強化を
行います



ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ

※主な取組についての具体的内容は、資料編 124 ページに記述しています
 ※「▶」は各部局における重点事業

作戦 1 ニーズの多様化に合わせた地域資源コンテンツの観光への活用

観光ニーズの多様化に対応するため、地域の人々が誇りに思い大切にしている地域資源に来訪者が触れ合い、その素晴らしさを分かち合う“新しい観光の仕組み”を構築する必要があります。そのため、伊豆市産業振興協議会を中核主体として「伊豆市版 DMO 事業」を推進していきます。

【主な担当課】

観光商工課／地域づくり課

◎主な取組

▶“伊豆市固有”の魅力的な地域資源を活用した新しい観光の仕組みの構築

持続的発展に向けた産業振興協議会の機能強化

作戦 2 美しい伊豆創造センターとの連携強化

「世界から称賛される美しい半島 伊豆」の実現に向け、美しい伊豆創造センター※²との連携により、伊豆半島全域での積極的な観光誘客や受け入れ態勢の整備、広域連携による新たな魅力の発信を行っていきます。

【主な担当課】

観光商工課

◎主な取組

広域連携による観光の一体的なブランドづくりの推進

美しい伊豆創造センターとの協働による観光振興

伊豆半島ジオパークの推進

※1 地域ブランド調査

株式会社ブランド総合研究所が実施している「地域が消費者からどれだけ魅力的だと思われるのか」という設問により、地域のブランド力を調査するもの。2020 年度調査では調査対象となった 1000 市区町村中、伊豆市が 21 位に選ばれた。

※2 美しい伊豆創造センター

7市 6 町首長会議において策定された「伊豆半島グランドデザイン」を推進するため、設立された組織。伊豆半島内の 13 市町および、13 地域観光協会、商工会議所、商工会、交通事業者、NPO 団体などが加盟している。

政策 1 地域の魅力の創造「地域産業の発展による市内経済の活性化」

施策 3 企業誘致や雇用創出に向けた取組の強化



本市の現状

- 😊 企業誘致の成果が徐々に出ている (H28～R1で4件の実績)
- 😊 創業者支援制度の活用や、創業セミナーの開催を通じて新規創業者数が着実に増加 (H28～R1実績：33人)
- 😞 人口減少対策に企業誘致と雇用の創出が有効と考えている市民が多い
- 😞 中山間地という立地に加え、農地は水田の青地農地が多く、企業誘致が難しい
- 😞 求人状況を踏まえると、地域企業などへの雇用のマッチング支援が必要

市民と共有したいありたい姿

- ◎ 企業誘致・留置が、働く場や雇用の確保につながり、人口が増え、活気のあるまちになる
- 多様な働き方を実現するための環境が整い、居住の地として本市を選ぶ人が増える
- 魅力ある店舗やサービスが増えることで、まちににぎわいがあふれ、豊かな生活を営める

改善

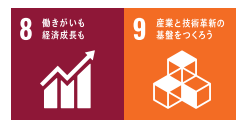


より良く



産業振興や雇用創出に向けた3つの作戦

作戦 1	作戦 2	作戦 3
積極的な企業誘致・留置に向けた取組を行います	にぎわいづくりに向けた起業・創業支援を行います	安定した雇用の創出を支援します



ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ

※主な取組についての具体的内容は、資料編 125 ページに記述しています
※「▶」は各部局における重点事業

作戦 1 企業誘致・留置の促進

新たな企業が市内へ進出しやすくするため、企業が求める情報を積極的に提供するとともに、優遇施策による支援を行っていきます。また、地域企業などへの雇用マッチング支援を行い、既存企業の留置に努めます。

◎主な取組

- ▶公共施設などを活用した企業誘致・留置の促進
 - ▶サテライトオフィス、テレワークなどの誘致
- 教育産業にかかる企業の留置

【主な担当課】

企画財政課／資産経営課／観光商工課／学校教育課／社会教育課

作戦 2 起業・創業の促進

個性的で魅力ある店舗や新たな経済循環を創出するため、創業者支援を継続するとともに、支援機関と連携した起業しやすい環境を構築します。また、女性の起業者の応援にも努めます。

◎主な取組

- 創業者支援制度の継続による起業支援
- セミナー開催など、創業における準備段階のサポート
- 創業希望者に寄り添った人材マッチング支援やフォローアップ

【主な担当課】

観光商工課／地域づくり課

作戦 3 安定した雇用の創出

持続可能な地域産業の発展を図るため、市内企業（事業所）の雇用を促すマッチング支援を行っていきます。また、女性・母親が働きやすく、男性も育休をとりやすくするための企業（事業所）による働きやすい職場環境づくりを支援します。

◎主な取組

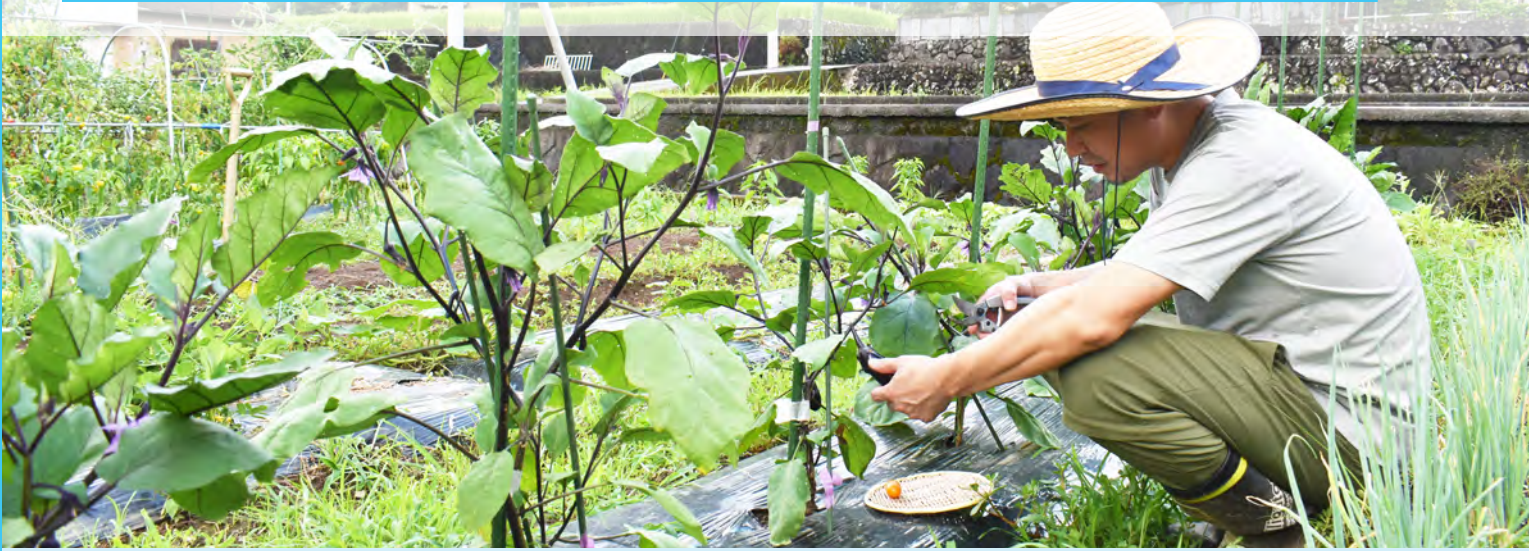
- 市内企業（事業所）の雇用マッチング支援
- 企業（事業所）の働きやすい職場づくり支援

【主な担当課】

観光商工課／子育て支援課

政策 2 地域の魅力の創造「豊富な農林水産資源の再構築」

施策 1 農林水産資源の多面的な活用



本市の現状

- 😊 地域おこし協力隊制度により新規就農者・林業従事者数が増加（新規就農者 H28：0人→R1：8人）
- 😊 農業体験等グリーンツーリズム^{*1}のニーズがある。
- 😊 農地取得に関する下限面積の引き下げを実施（30a→20a）
- 😊 首都圏のみならず市民の間でも、アクティブシニア層^{*2}からの農地付き空き家への移住ニーズが多い
- 😊 森林環境税及び森林環境譲与税^{*3}に関する法律により、森林環境譲与税を活用した林業振興が求められている

市民と共有したいありたい姿

- ◎ 移住希望者が農業をしながら幸せに暮らすライフスタイルが実現されている
- 就農希望者と地域の連携により、耕作放棄地が解消されている
- 適切な間伐によって森林環境や景観が保全されている

改善



より良く



農林水産資源の多面的な活用に向けた2つの作戦

作戦 1

移住・定住につながる
身近な農業の創出を
行います

作戦 2

木材の地産地消による
林業の振興を
行います



ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ

※主な取組についての具体的内容は、資料編 126 ページに記述しています
 ※「▶」は各部局における重点事業

作戦 1 移住・定住につながる身近な農業の創出

農業従事者の高齢化や後継者不足、農産物価格の低下、耕作放棄地の増加などの問題に対応しながら地域農業を維持するとともに、アクティブシニア層の移住希望者にニーズの高い、身近に農業を体験できる場の創出を図ります。

【主な担当課】

農林水産課 / 地域づくり課

◎主な取組

▶農業委員会と連携した農地取得の下限面積の引き下げや“農地付き空き家”の提供

地域と連携した新規就農者・移住就農希望者の受け入れ

市民農園、体験農園の充実

作戦 2 木材の地産地消による林業の振興

森林の適切な育成や良質な木材の生産を図るため、森林環境譲与税を活用した間伐や森林施業の効率化など、木材の効果的な利用を促進します。

【主な担当課】

農林水産課

◎主な取組

森林環境譲与税の有効活用

伊豆半島の木材流通拠点の創出
 (令和 4 年度完成)

※1 グリーンツーリズム

緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

※2 アクティブシニア層

仕事や趣味などに意欲的で、健康意識が高い傾向にある活発な主に 65 ~ 75 歳の前期高齢者。

※3 森林環境譲与税

令和元年度より国から自治体に譲与されている、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることのできる税。

政策 2 地域の魅力の創造「豊富な農林水産資源の再構築」

施策 2 日本一の「わさびの郷」の創出と未来への継承



本市の現状

- 😊 平成 30 年 3 月に「静岡水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産※¹ に認定され、全国のみならず世界からも注目されている
- 😊 生産者は誇りを持ってわさびづくりを営んでいる（わさびの栽培面積：日本一）
- 😞 種苗生産者の事業撤退や温暖化により苗の育成が困難になるなど、苗の安定供給が課題
- 😞 わさびの郷の認知度向上が課題

わさびはみ〜ど〜り〜! 🎵

市民と共有したいありたい姿

- ◎ わさびが地域の自慢の特産品として、市民の誇りとなっている
- 就農希望者と地域の連携により、わさびに高い付加価値がつき、安定的な高収入が得られる
- わさびが身近な存在であり、食卓に当たり前にならわさびが並んでいる
- 畳石式による大規模なわさび田の景観が唯一無二の価値として、しっかりと保全・継承されている

〜 🎵

改善



より良く



日本一のわさびの郷に向けた 2 つの作戦

作戦 1

さらなる生産振興と
技術継承を
行います

作戦 2

美しい里山環境の
保全を
行います



ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ

※主な取組についての具体的内容は、資料編 127 ページに記述しています
 ※「▶」は各部局における重点事業

作戦 1 わさびの生産振興と継承

伊豆市のわさびの生産振興のため、苗の安定供給による生産性の向上を図るとともに、高付加価値化に向けた取組のほか、技術を継承する担い手の確保・育成を推進します。

●主な取組

▶地理的表示保護制度 (GI)^{※2} などを活用したわさびの保護・ブランド化

苗の安定供給による生産性向上

技術を継承する担い手の確保と育成

【主な担当課】

農林水産課

作戦 2 美しい里山環境の保全

世界農業遺産に認定された「静岡水わさびの伝統栽培」など、豊かな資源を将来につなげていくために、里山環境の保全を行うとともに、伊豆市わさびの郷構想に基づく拠点を整備し、畳石式による大規模なわさび田の景観などのわさびの魅力の世界に向けて発信していきます。

●主な取組

▶“わさびの郷”の拠点整備と情報発信

日本一のわさびの郷の保全

【主な担当課】

農林水産課

※1 世界農業遺産

世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域を国際連合食糧農業機関 (FAO) が認定する制度、遺産。日本国内で 11 の地域が認定されており、当市を含めた「静岡県わさび栽培地域」は H30.3 に認定された。

※2 地理的表示保護制度 (GI)

「夕張メロン」や「神戸ビーフ」のような特定の産地と品質等の結び付きのある農林水産物・食品等の名称を知的財産として保護し、生産者の利益の増進と信頼の保護を図る制度。



春季 弘法忌 湯汲み式 (修善寺温泉)